

## 路線バス（乗合バス）の運賃改定の認可申請について

伊豆箱根バス株式会社(住所:静岡県三島市、代表取締役:鬼頭 研二)は本日、中部運輸局に一般乗合旅客自動車運送事業の上限運賃変更認可申請を行いました。

当社は、これまで静岡県東部から神奈川県西部において、安全・安心を最優先に掲げ、公共交通機関として社会的使命を果たすとともに、お客さまの利便性・快適性の向上に向けて、キャッシュレス決済サービスやバスロケーションシステムの導入、定期的な車両更新など継続的な設備投資を実施するとともに、各種企画乗車券を設定するなどさまざまな取り組みを実施してまいりました。

しかしながら、沿線人口の減少、新型コロナウイルス感染症による観光需要の激減、新しい生活様式の定着による移動手段の変容などによって利用者数が減少するなど、今後も厳しい経営状況が続くと予想されます。

今回の運賃改定は、このような厳しい状況下においても、さらなる経営努力を前提として将来にわたりバス事業を継続していくために実施させていただくもので、1997(平成9)年6月以来(消費税率変更によるものを除く)約25年ぶりの上限運賃変更認可申請を行ったものです。

ご利用者の皆さまには、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

#### <主な申請内容>

1. 平均改定率 14.5%
2. 初乗り運賃 200円(現行180円)
3. 主要区間における現行・申請運賃比較表  
(真鶴コミュニティバスを除く)

区間	区別	現行運賃	申請運賃
小田原駅～市立病院前	大人	180円	200円
	小児	90円	100円
小田原駅～久野車庫前	大人	210円	230円
	小児	110円	120円
小田原駅西口～協和橋(循環線)	大人	220円	270円
	小児	110円	140円
小田原駅～船原	大人	370円	400円
	小児	190円	200円
小田原駅西口～佐伯眼科	大人	210円	230円
	小児	110円	120円
真鶴駅～里地	大人	200円	220円
	小児	100円	110円

◆ICカードの運賃は現金運賃と同額。

◆定期券の割引率は変更しませんが、変更後の区間運賃を適用した定期券をご購入いただきます。

4. 運賃改定予定日 2022(令和4)年10月1日

※詳細につきましては、別紙をご参照ください。

5. お問い合わせ 伊豆箱根バス株式会社 営業部 乗合課  
TEL.055-977-1212 (9:30~16:30 土休日除く)

以 上

## 乗合バスの料金改定の認可申請について

## 1. 申請理由

伊豆箱根バスでは、1997(平成9)年6月の前回改定以来、消費税率引き上げによるものを除き、約25年間運賃料金を変更することなく、お客さまの交通手段を確保してまいりました。

この間、沿線人口の減少等により運賃料金収入の減少など厳しい状況においても、数次にわたる経営計画を策定し、給与制度の見直しや2006(平成18)年には伊豆箱根鉄道のバス事業等を子会社(現在の伊豆箱根バス)に事業譲渡し大幅な人件費を圧縮するなど、自助努力により経営改善に取り組みながら、約25年間運賃料金を変更することなく、日常生活を支える公共交通として、安全安心な輸送サービスの提供に努めてまいりました。

しかしながら、これまで使用期間を延長してきた乗合バス車両の更新台数の増加、乗務員の確保、老朽化する車載器等、安全に対する投資額の増加が見込まれ、厳しい経営状況が想定されることから、今後にわたり安全な輸送サービス等確保維持していくため、運賃料金改定による収支改善が必要と判断し認可申請を行ったものです。

## 2. 主な申請内容

- ① 平均改定率 14.5%
- ② 初乗り運賃 200円(現行180円)
- ③ 主要区間における現行・申請運賃比較表  
(真鶴コミュニティバスを除く)

区 間	区別	片道運賃		通勤定期1ヶ月		特殊通学定期1ヶ月	
		現行	申請	現行	変更	現行	変更
小田原駅～市立病院前	大人	180円	200円	7,560円	8,400円	5,400円	6,000円
小田原駅～久野車庫前	大人	210円	230円	8,820円	9,660円	6,300円	6,900円
小田原駅西口～協和橋	大人	220円	270円	9,240円	11,340円	6,600円	8,100円
小田原駅～船原	大人	370円	400円	15,540円	16,800円	11,100円	12,000円
小田原駅西口～佐伯眼科	大人	210円	230円	8,820円	9,660円	6,300円	6,900円
真鶴駅～里地	大人	200円	220円	8,400円	9,240円	6,000円	6,600円

◆特殊通学定期は5割引きに設定した定期券

## 3. 経常収支状況及び輸送人員

		収支状況	輸送人員
実績年度(令和元年度)		△61,841千円	5,509千人
平年度(令和5年度・推計)	改定前	△324,287千円	5,127千人
	改定後	△195,317千円	4,977千人

## 4. これまでの経営改善及び今後の取組み

当社では、これまでに経営改善として、給与制度の見直しや2006(平成18)年には伊豆箱根鉄道のバス事業等を子会社(現在の伊豆箱根バス)に事業譲渡し大幅な人件費を圧縮、営業所の統廃合、路線の見直し、ダイヤ改正、車両使用年数の延長等による経営効率化を進めてまいりました。

また、コロナ禍においては、利用者動向を踏まえた運行計画の見直しやお客さまの利便性・快適性の向上に向けて、キャッシュレス決済サービスやバスロケーションシステムの導入、各種企画乗車券を設定するなどさまざまな施策や輸送サービスの維持に取り組んでおります。今後も、利便性向上や運行計画の見直し等を図り、持続可能な経営を推進してまいります。

## 5. 今後のサービス向上の取組み

今後も輸送サービスを提供するため、バス車両の更新を行い安全対策に取り組むとともに、利用サービスとしてスマートフォンから曜日や時間に関係なく、いつでも購入可能な「モバイル定期券」を導入しており、順次対応路線を拡大し、定期券をよりお求めやすくするサービスの提供に取り組んでまいります。